

## 0616 ホイールローダ（トンネル専用機）

### －05\* 【サイドダンプ式】

トンネル工事用排ガス対策等を織り込んだホイールローダで、ずりをダンプトラックなどに積み込む作業に使われる。バケットは横方向に傾けて排土するサイドダンプ形式で、ダンプトラックの荷台に対し斜めに接近し積み込む。岩片などでタイヤが傷つくのを防ぐためタイヤチェーンを装着して作業する。



## 0617 スリ積機

### －011 【クローラ式・バックホウ・コンベア付】

浅底バケットを装着したバックホウでズリを掻き寄せ、エプロン奥に装着されたコンベアに載せ、コンベアで車両の後方まで送り、そのまま「ずり鋼車」などに積み込む機械。他の積込機械のように旋回したりバケットを高く持ち上げる必要がないため、導抗や小断面トンネルでも使える。外部から電力の供給を受けて作業を行うが、走行および補助用にエンジンを併設した機種もある。



### －051 【ローディングショベル（電動式）】

ずりをダンプトラック等に積み込むための電動式ローディングショベルで、排ガスを出さず音も静かで、ホイールローダに比較しサイクルタイムが短く作業効率も高い。電源は電源ケーブルやケーブルリールを介して地上側から供給される。一般的に主機関である電動機の他に、走行用のディーゼルエンジンも併せ搭載している。バケットの形式には底を開いて排出するボトムダンプと、前方に傾けて排出するチルトダンプがある。



### －06\* 【ローディングショベル（エンジン駆動式）】

ディーゼルエンジン駆動式のローディングショベルで、トンネル工事用排ガス対策を施したもの。一般的に、狭い坑内での稼働を考慮しコンパクトな外形としている。ずりの積込みの他、大型ブレイカを搭載し切羽の掘削等に用いられる事も多い。



## 0618 スリ積込・運搬機

### －071 【ロードハウルダンプ】

1台でずりをバケットにすくい込み（Load）、運搬して（Haul）、目的地で排出（Dump）することができる機械。

オペレータは車体の側端に横向きに座り、顔を走行方向に向けて運転するためシャトル運搬が可能（方向転換が不要）である。また車両全高が低いため、比較的小断面のトンネルでも、天端（天井）が低い断面でも作業ができる。しかし、距離が長くなると作業効率は低下する。



## 0619 ダンプトラック（トンネル専用機）

### －051 【普通・ディーゼル】

10t積みのダンプトラックでナンバー付き（自動車としての排ガス対策を施し公道走行も可能なもの）、あるいは「トンネル工事用」としての排ガス対策を施したもの。一般的に大塊のずりもスムーズに排出できるよう、ベッセル（荷台）後端の開閉ゲートは取り外しスクープエンド形状としている。